

同援だより

2025 年 秋季号 (205 号)

CONTENTS

永年勤続者表彰
施設通信

第 44 回全国社会福祉法人経営者大会

理事長 飯山 幸雄



去る 9 月 18 日から 19 日にかけて行われた第 44 回大会に参加し、「福祉を守り抜く経営実践【事例報告】～多角化・多機能化、経営強化」分科会に出席しました。半日で①「人材確保・職場づくり」、②「経営改善・ICT 等の活用」、③「地域連携・地域貢献」の 22 事例の報告が行われたため、1 事例当りのプレゼンテーションが 5 分程度しかなく聞けたのは本当の概要だけという感じでしたが、大いに参考となりました。

注目すべき点は、多くの事例で ICT 活用・DX の推進が基底にあったことです。

まず、①では、深刻な人手不足に対する人材確保について、採用方法に工夫を凝らしてミスマッチを防ぐ取組、ホームページ (HP)・SNS の活用により 10 年間紹介・派遣会社を利用せず直接採用を継続している取組、採用の専管部署を設け直接雇用を進めるため採用 HP・公式 SNS (YouTube 動画多数アップ) を活用し採用単価削減も行い採用実績を上げた取組がありました。また、知的障害者を採用して手厚いサポート体制を組み、得意分野を見出して職場の DX 推進役になった事例、「利用者ファーストのための職員ファースト」を掲げ天井走行リフト・見守りセンサー活用で職員の負担軽減・生産性向上を進めている取組、コーチング研修の継続・充実で「指示待ち」職員を「自ら挑戦・提案」型に変革して経営改善を進めた取組、DX 推進で情報の流れを変え会議・打ち合わせをほとんどなくし 2 年連続有給休暇所得率 80% 以上で完全週休 2 日制を実現した取組、海外人材を積極的に採用 (従業員 1400 名中 150 名) し法人の未来を担う人材としようとしているものなど、まさに注目すべきものばかりでした。

②では 8 年前から週給 3 日制にしている上にさらに業務プラットフォームをスマートフォンにして業務を効率化し有給休暇取得率 98.3% を実現した取組、進んでいない ICT 化を何とかしようとしてデジタル人材の育成を行い業務アプリの開発までできるようになった取組、手作業による業務を AI の ChatGPT を使い自動化した事例、ケアマネジャーの業務を生成 AI を使って効率化し生まれた時間を利用者・職員のために活用している事例などが、上記のものと同じく学ばなければならないと思ったものでした。

この①、②には 2 事例を挙げた法人が二つもありました。

①、②のそのほかの事例と③の事例も素晴らしく、本会でも同様の取組ができれば事業の充実を図ることができると思われるものでした。今回は、先進事例に学ばなければならないと痛感させられたセッションでした。

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会

令和7年度永年勤続者表彰

永年勤続者表彰式が令和7年10月8日、9日に執り行われました。30年勤続5名、20年勤続12名、10年勤続28名の方々が表彰されました。今後益々のご活躍をお祈りしております。

30年 永年勤続を迎えて



『心に残っている出来事』

事務局総務部
主任事務員

く ら い え り こ
倉 井 絵 理 子

平成6年夏、採用面接のため昭和郷保育園を訪れました。当時の昭和郷保育園は万世母子寮との合築平屋の古い建物で、門から玄関までの長いアプローチに大きな桜の木が陰を作りその薄暗さが不安を倍増させ、何度も足を止めて引き返そうか迷ったのを覚えています。保育園と法人本部での面接を経て9月1日採用となりました。「仕事内容は事務だが職名は用務員でいいか」と聞かれその時は意味がわからず「ハイ」と答えました。保育園の職員配置基準に事務員が無く用務員の配置での採用だと後からわかりましたが何と30年経った今でも保育園には非常勤事務員の配置しかありません。これだけ多様な事務の仕事があるにも関わらず驚くばかりです。

右も左もわからない私に園長、主任が一から事務の仕事を教えてくださいました。周辺施設の事務の方にも助けていただきました。当時は全て手作業で計算機片手に措置費請求、給与計算、社会保険の届出、振替伝票、試算表、予算決算と初めてのことばかりを見様見真似でこなす日々でした。自分が何をしているかようやくわかり始めた平成12年4月総務部へ異動となりました。保育園のことしか知らなため無理だと辞退を申し出ましたが、やってみてから無理かどうかは決めればよかったと当時の園長に諭されての異動でした。またまた何もわからない状態で本部職員の先輩たちに囲まれ、時には涙することもありましたが、今に繋がる基本の基を身につけるたくさんの経験をさせていただきました。

時の流れとともに教わる側から教える立場になり、「伝える」ことの難しさや、制度、価値観、常識が変化するスピードに自身のアップデートが追いつかないとすることが多くあります。これまで不安や不満に直面するたびに理解を示し味方になって支えてくださった方々との出会いに感謝し少しでも恩返しができるよう、これからも気力と体力が持続する限り励みたいと思っています。

20年 永年勤続を迎えて



『仕事とリフレッシュ』

立川福祉作業所
主任生活支援員

と が み え い ご
戸 上 英 悟

この20年でIT化による時短や合理化が進み、検索すればすぐに答えを導き出せるようになりました。確かに便利にはなりましたが、あまりにも物事がスマート化して、大事なものが見落とされたまま日々過ごしているのではないかとこの感覚に襲われることがあります。そのような時、深く息をして落ち着ける気持ちにしてくれるのが、20年以上続け

ている陶芸です。『頭で考えず、素直な気持ちでロクロを引きなさい』という先生の言葉は、感性を磨く教えました。形に拘らず、一瞬一瞬土に寄り添いながら作陶していると、土との一体感が生まれ開放的な気持ちになります。これと同様の経験は、利用者さんとの関わりの中にも多くあります。彼らが語ることに耳を傾けていると、とんでもない変化球の返答や魅力溢れる行動に驚かされます。その驚きが、知らずに築いてしまっていた固定概念から私を解放してくれます。長く働いていると最短で最適解を求めがちになりますが、大事なことは相手の呼吸と一致するような関係性になることで見えてくるのではないかと考えています。今後も答えを急がず、時には立ち止まりながら、利用者さんとの関わりを大事に仕事をしていきたいと思っています。

10年 永年勤続を迎えて



『同援との出会い』

大山保育園
看護師

たかはし りか
高橋 里香

同援への入職動機は将来の子育てを考えた時に保育園看護師を経験して学びたいという思いからでした。

看護師として集中治療、手術など急性期医療の経験がメインだったため、いわゆる風邪のような感染症や嘔吐処理など保育園で起こりやすいものは初めての事ばかりでした。当初は医療従事者が自分のみという環境はこんなにも不安で責任があることな

のかと感ずることもありましたが、保育士や園児と日々関わり、自分に求められるスキルは何かを考え、学ぶことで専門職として頼られる喜びを感じられるようになっていきました。何より嫌なことがあっても子どもと関わっていると笑顔になれる環境であったり、様々な職員とコミュニケーションを取りながらチームで働く楽しさが活力になっています。また、同職種で悩みを相談し合える看護師会も私にとっては支えになっています。

本来の目的だった子育てと保育とは全く異なり、仕事ではできる対応も我が子となるとそうも行かず・・・などと反省ばかりですが、先輩や仲間に相談させてもらい救われる事も多く、職場の協力や助けなしでは仕事を続けられなかったのが本当に感謝しています。様々な世代の職員が生き生きと働き続けられるような職場づくりに貢献できると良いなと感じています。

表彰者の方々

30年 (H6.4.2～H7.4.1)

氏名	施設名	職種
田中 雄一	新宿区榎町高齢者総合相談センター	相談員
白石 善太	小茂根福祉園	生活支援員
西澤 瑞穂	むさしの保育園	保育士
倉井絵理子	事務局総務部	事務員
楠 美佳子	昭島病院	事務員

20年 (H16.4.2～H17.4.1)

氏名	施設名	職種
後藤 由紀	昭島荘	介護職員
戸上 英悟	立川福祉作業所	生活支援員
寺島 舞	同援みどり保育園	保育士
倉持 謙由	サンライズ武蔵野	副所長
佐藤 孝夫	双葉園	園長
木村 早苗	双葉園	保育士
濱本加代子	昭島病院	師長
麦倉奈穂子	昭島病院	師長
藤原 康紀	昭島病院	リハビリテーション副部長
上西 順子	昭島病院	理学療法士
守谷 俊之	昭島病院	事務員
桑原 邦宜	事業局	パソコンオペレーター課長

10年 (H26.4.2～H27.4.1)

氏名	施設名	職種
渡辺うらら	フジホーム	介護職員
久高 勇太	フジホーム	介護職員
藤原 高廣	フジホーム	介護職員
高名 綾	ニューフジホーム	介護職員
富永由美子	ニューフジホーム	介護職員
長谷川 涼	ニューフジホーム	介護職員
小山 香	昭和郷訪問介護センター	介護職員
小林 怜史	原町ホーム	介護職員
雪浦 紗織	新宿区榎町高齢者総合相談センター	相談員
森 有里	ひかり苑	生活相談員
李 美淳	ひかり苑	介護職員
井上 貴之	ひかり苑	介護職員
野村 京子	サンホーム	介護職員
松本 聖哉	昭島荘	介護職員
齊藤 葵	小茂根福祉園	生活支援員
細界 文香	小茂根福祉園	生活支援員
安間 春香	小茂根福祉園	生活支援員
吉野 智彦	さくらんぼ	生活支援員
田口 紡	さいわい福祉センター	生活支援員
望月花菜子	さいわい福祉センター	生活支援員
八木 由美	むさしの保育園	看護師
阿部 佑奈	昭和郷保育園	保育士
松本 夕依	昭和郷保育園	保育士
高橋 里香	大山保育園	看護師
茨木 綾子	同援いぐさ保育園	保育士
楠 芳恵	昭島病院	内科医師
佐藤 宏祐	昭島病院	事務員
橋本美和子	事業局	事務員



手と心でつくる、私たちの作品

さいわい福祉センター

生活支援員

いいだ 飯田
こうせい 晃生



好みの色を選びました

さいわい福祉センターは、17の事業からなる多機能型の障害者施設です。その中のひとつである生活介護事業「ココナッツ」では定員8名で、重度心身障害の方々への支援を行っています。現在、ココナッツには5名の利用者が在籍しており、医療や理学療法士との連携を通じて、利用者が安心して安全に過ごせる環境を提供しています。

また、日々の生活支援に加えて創作活動にも力を入れており、かつては草木染めを中心とした作品づくりを行っていました。今年からは、Tシャツやトートバッグの制作にも挑戦しています。



個性が光る一点もの！

鮮やかな色合いや個性あふれるデザインは、利用者一人ひとりにしか生み出せない、非常に魅力的な一点ものとなっています。これらの作品は販売を通じて利用者の工賃につながり、やる気や達成感を高める重要な役割を果たしています。さらに、職員も利用者とともに創作活動を楽しむことで、施設全体に明るい雰囲気生まれています。

これからもココナッツでは、利用者一人ひとりの可能性を大切にしながら、日々の支援を通じて、豊かな暮らしを支える場としての役割を果たし続けていきます。

施設魅力

月に1回のお楽しみ食

ニューフジホーム

管理栄養士

えんどう ともこ
遠藤 知子



敬老を祝う集い

ニューフジホームでは9月に敬老を祝う集いを行いました。まだ暑さも残っており、以前のような秋を感じる敬老の日とはなりませんでした。暑かった夏を乗り越えて迎えたおめでたい日をみなさんでお祝いできたこの日はとても素敵な1日となりました。昼食はお赤飯のお祝い膳で、デザートには多くの利用者が楽しみにしているモンブランケーキを提供しました。

また毎月1回、お楽しみ食として普段のお食事より少し特別感のある食事の

提供をおこなっています。利用者からのリクエストや季節の食材を取り入れながらメニューを決定します。ダントツの人気No.1はお刺身やお寿司のメニューで、普段の食事摂取量が少なめの方でも完食したり、夢中で召し上がる方も多くみられます。

施設での生活の中で食事の時間を楽しみにされている方は多く、献立表を眺めながら好きなメニューの話をされている利用者の輪の中にお邪魔して、私自身の止まらない食欲と体重についての話題で盛り上がることもあります。

毎日の食事が楽しみや活力につながるように、これからも工夫をしながら取り組んでいきたいと思ひます。



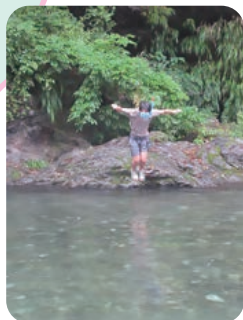
一口大のてまり寿司風



くまさんオムライス

／双葉園の魅力／

双葉園 新任職員



夏のキャンプ
川へダイブ

双葉園は今年度、10名の新任職員が入ってきました。約半年経ち、『双葉園の魅力』を聞いてみました。

- ・グループホームがあって家庭的な支援を心掛けているところが魅力。(和田)
- ・有給取得率が高い！アットホームで仲良し！上の人との距離感が近いので意見や相談しやすい！（小田）
- ・自慢できるところは、話し合いができる人がいて、相談しやすいところ。(塩谷)
- ・職員同士の仲が良く、仕事にメリハリがあるところ。(謝)
- ・人が優しく何でも相談できることや子どもたちのために働けるところ。(吉田)
- ・職員同士仲が良く、年数など関係なく気軽に話しできるアットホームな環境である事です。1年目の私でもユニットの先輩のみならず園長や管理職にも相談に乗ってもらっているので、誰にでも相談しやすいというのは一番の魅力だと思います。(荒井)
- ・月に1度『事業計画書の読み合わせ』と称して、全てのユニット及びグループホームの職員がくじ引きで、小グループに分かれて話し合いをする場が設けられています。そのお陰で他のユニットやグループホームの職員と顔見知りになり、誰とでも話やすく、安心して働くことができます。(山田)

双葉園の魅力は「アットホーム」や「相談しやすい」といった感想が多く、皆さんがそのように感じていることを嬉しく思います。きっと近い将来、あなた方が双葉園の魅力となっていることでしょう。楽しみにしています。 I love futaba.



ランチパーティー
でのゲーム大会



糸電話 もしもし～
聞こえますか？

通信 発見

／子どもたちとともに／

同援みどり保育園

主任保育士

みやした じゅんこ
宮下 淳子



「よし！」なっとく笑顔



視線の先に
それぞれの思いを乗せて

『子ども主体の保育』が育ちに必要であるといわれています。当園でも自分たちの保育を見直し、今の子どもたちに私たちは何をすべきか、話し合いを重ねてきました。その中で大切にしてきたものの一つが、子どもたちの発信をもとに保育を展開していくことです。

先日の行事、縁日お店屋さんごっこで4歳児クラスは、「水族館がやりたい！」との意見が出されました。「お魚を描いて飾る」「ショーを見せたい」との希望に対し、どのように進めるかと話し合うと、目を輝かせながら“こうやって表現したい”と言葉にする子どもたち。私たち保育士は、イメージしやすいように魚の図鑑をそっと置いたり、ショーで魚になりきるための衣装の材料を用意したり、一人ひとりが輝けるようなサポートに徹することで、準備から当日まで自信を持って表現出来ました。

また、クラスで一つの作品を作り上げる製作活動では、一人ひとりのアイデアを活かしみんなで取り組みました。時間を忘れるほど夢中になって取り組んでいる時の表情は、本当に輝いていました。子どもたちの育ちのそばに寄り添えるこの仕事はとても魅力的です。



真剣に時間をかけて
じっくり悩む

グローバル職員研修

ゆたか苑

施設長

うすい
薄井

まさかず
正和

高齢者支援系グループでは2019年10月よりフジホームの技能実習生受入れからスタートし、各事業所で特定技能実習生の受入れを行っています。今回、グローバル職員の仲間が他施設にもいることや同援職員として結束を高めていただこうと「グローバル職員研修」を企画しました。ひかり苑を会場に法人交流として隣接する社会福祉法人村山苑ハトホームもお誘いしミャンマー、インドネシア、ベトナム7名のグローバル職員にご参加いただきました。



「より良い介護を目指して」

神戸市高齢者虐待防止介護従事者研修用動画の視聴を通して「より良い介護とは何か？」と視聴後のグループワークで闊達な意見交換が繰り広げられました。『百聞は一見に如かず』映像から学びを得ることも多く、柔軟な視点で物事を捉えていらっしゃる様子が印象的でした。



「先輩グローバル職員からのメッセージ」

昭和郷訪問介護センターで活躍されているダンゴルさんをお招きして来日から現在に至る経験談をご披露いただきました。日本語習得のコツや介護福祉士資格取得の勉強方法など、今後のキャリアデザインにも繋がる貴重なお話に参加者の興味関心も強く、耳を傾けています。また、ダンゴルさんが振る舞って下さったネパールの飲み物「チャ」（スパイスが効いたミルクティー）で



気持ちも和らいだのか参加者同士のコミュニケーションが活発に行われました。

「介護業務に従事して」

日々、介護業務に取り組んでみて困ったことや育成方法で改善して欲しい点について他施設の介護主任をファシリテーターに意見交換を行いました。参加者同士で悩みを共有することで「自分だけではないこと」人材育成において、複数の者が関わることによって生じるアプローチの差異については『色々な手法が学べて良い。』とポジティブに捉えていること。受入環境を整える上で大きな気づきとなりました。

研修会終了後も参加者同士で会話を楽しむなど当初の目標は達成出来たのではないかと思います。介護福祉士資格取得を目指し、事業所間で連携して施設はもとより法人を支える仲間を育成していきたいと思っています。

高齢者支援系グループのスローガン『「We are douen」～自分の職場が好きになる～』を目指してグローバル職員の皆様のご活躍を期待しています。これからも一緒に頑張っていきましょう！

＊2025年10月1日現在、10ヶ国37名のグローバル職員が活躍中です。



「令和のええじゃないか」から「昭和郷フェスティバル」へ

高齢者支援系グループ長

サンホーム施設長 ^{やまぐち} 山口 ^{しんじ} 慎二

まだまだ残暑が厳しかった8月29日、特別養護老人ホームフジホームを舞台に「令和のええじゃないか」を開催いたしました。

きっと誰もが学生時代に歴史で学んだ「ええじゃないか」。まさか身近に起こるとは。

ええじゃないかとは、江戸時代末期の慶応3年、「天からお札（おふだ）が降ってくる」という話をきっかけに民衆が歌い、踊り、仮装して街を練り歩いた騒動。政情や不景気などの不安や不満から世直しの願いも込められていたと言われます。そのときの唱え文句が「ええじゃないか」。

時は流れてたゞいま令和。世は相変わらず乱れ、人々の心は疲弊しておりました。今こそ「令和のええじゃないか」で世直しを信じ、太平の世を願い、歌い踊ろうではないか！

有志の職員とたくさんのボランティアの方々にご協力をいただき、歌や演奏、踊り、果ては恐竜までが出たり入ったり館内を縦横無尽、フジホームをさながらフェス会場のようにしてしまいました。

“あなた”と“わたし”が利用者と職員という枠を超えて一緒に楽しみ、笑い、そしてエピソードを創り、紡ぎ、つなげる。「令和のええじゃないか」は人と人とのつながりが太平の世をつくる…、どうです？ワクワクしませんかー？

合言葉は「ええじゃないか」。この流れで昭和郷フェスティバルにバトンを渡します。



昭和郷第二保育園職員によるマツケンサンバ

最後に降って湧いたこのお騒がせ企画を、そして突然訪れた一芸集団を温かく迎えていただいたフジホームの皆様、本当にありがとうございました！

We are douen !



ええじゃないかポスター



昭和郷フェスティバルポスター



ハーモニーズ様による演奏



昭島ビューティ様によるネイル

ご支援ありがとうございます。大切にさせていただきます

(敬称略順不同)

ご 寄 付

東京数寄屋橋ライオンズクラブ

さやま園保護者会

後 援 会

高仲智子	川井文子	林優子
山田春子	永井允子	平間重信
深井葉子	林美枝	(株)増田コーポレーション
(株)橋本工務店 橋本誠一	(株)石塚家具店	(株)金祥堂紙販売
浦野工業(株) 代表取締役 浦野静夫	長崎三丁目町会 会長 足立憲昭	(有)ラッコクリーンサービス 代表取締役 佐々木憲寅
昭島ガス(株) 代表取締役社長 平畑文興	(株)ショーワ	(株)木の里工房木薫
ネオ・ハルト(株)	マツダドライサービス 日下幸宏	東京冷機工業(株)
三峰電気(株)	(株)コスモス医工 代表取締役 小林寿男	(有)原島組

【2025年7月1日～10月15日 受付分】

'26 採用 (新卒・キャリア採用) 募集中です!!

保育士 介護職員 生活支援員 児童指導員 他

- ・ご利用者やご家族と寄り添える方
- ・新しい仕事にチャレンジしたい方
- ・創造力を活かして仕事をしたい方
- ・子ども達の成長に「喜び」や「やりがい」を感じることができる方

1,700名を超える
たくさん仲間たちが
「あなた」を
お待ちしております。

採用説明会、採用試験は定期的を実施しております。
また、施設見学も随時受け付けております。



施設見学のお申込み



採用エントリー

あなたのエントリーをお待ちしております

お申し込みは
こちら



資格取得の紹介

次の方々が資格取得しました。
日頃の業務に生かしご活躍を期待します。

【介護福祉士】

- さやま園 生活支援員 奥山恵子
生活支援員 安藤慎吾

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方が表彰されました。
おめでとうございます。

【東京都功労者表彰 (福祉・医療・衛生功労)】

- 東村山生活実習所 施設長 荒井隆夫

雑感

自然が色づき始め心に深い静けさをもたらす季節になり、40年くらい前に外で遊び回っていた日々を思い出します。泥や草花に触れ、手が真っ黒になることも気にせず遊んでいましたが、乾燥や汚れでかざれになってしまい、手を使うたびに痛みが気になりました。寒さが増してくると肌の乾燥が進むので、今の時代保湿クリームが欠かせないですね。

秋はまた、食の豊かさを感じる季節でもあります。栗やサツマイモ・果物、そして新米の香りなどが漂い食欲が増します。秋の食材を使った料理を楽しむことで、季節の恵みを思う存分に味わう機会が持てること

も醍醐味ですね。

秋の夜長には読書も楽しめます。手元には電子化された書籍になり、スマートフォンやタブレットの画面を見つめながら、漫画や物語などの世界に没入できます。指先一つでたくさんの情報が得られる技術はすごいですね。昔は本を指でめくっていた作業が、今はスワイプに変化したことで少し寂しさも感じますが…。皆さんも秋の自然に触れ合う中で、子どもの頃を思い返し、世の中で変化している「時の流れ」を感じてみませんか。

(サンライズ武蔵野 倉持 記)



発行者 飯山 幸雄
社会福祉法人 東京都同胞援護会
東京都新宿区原町 3-8
電話 03(3341)7161 <http://doen.jp/>

印刷所 東京都同胞援護会事業局
東京都墨田区両国 4-1-8

令和7年10月29日 発行

